

**旧赤羽台団地の「ポイント型住棟（スターハウス）」を含む4棟が  
団地初の登録有形文化財（建造物）に登録へ**

令和元年7月19日に開催された国の文化審議会において、日本住宅公団（現在の独立行政法人都市再生機構）が昭和37年に管理開始した旧赤羽台団地（東京都北区）のポイント型住棟（スターハウス）を含む4棟が、団地として初めて、国（文化庁）の登録有形文化財（建造物）に登録するよう答申されましたのでお知らせします。

**■登録有形文化財（建造物）に登録となる住棟の概要**



写真①：板状階段室型住棟（41号棟・2018年12月撮影）



写真②：スターハウス（42号棟・2018年12月撮影）

棟番号	型式	構造	建築面積	戸数	建設年
41号棟	板状階段室型	鉄筋コンクリート造 地上5階建	374㎡	40戸	昭和37年
42号棟 43号棟 44号棟	ポイント型住棟 （スターハウス）	鉄筋コンクリート造 地上5階建	各148㎡	各15戸	

当該4棟につきましては、令和元年6月19日に発表した「都市の暮らしの歴史を学び、未来を志向する情報発信施設」の整備において、建設当時の住戸再現モデルや、新しい暮らし方を提案するモデル住戸等を展開する場として活用していく予定です。

**【 本件に関するお問い合わせ先 】**

独立行政法人都市再生機構

技術・コスト管理部    技術調査課    電話：045-650-0705  
 広報室                    広報課            電話：045-650-0887

## ■ 赤羽台団地の特徴

赤羽台団地は、第二次世界大戦後米軍に接収されていた旧陸軍被服本廠の跡地に日本住宅公団が建設し、1962（昭和 37）年に管理開始された全 3,373 戸の団地です。当団地は東京 23 区内初の 1,000 戸を超える大規模団地で、住棟の配置計画・建築計画も変化に富み、直交住棟や囲み型住棟、ポイント型住棟（スターハウス）を組み合わせ変化ある景観を形成していました。

赤羽台団地は、2000（平成 12）年から建替事業に着手し、多くの住棟はニューヴェル赤羽台へと生まれ変わりましたが、41～44 号棟については戦後の住生活環境を示す文化資源として保存、活用して参ります。



写真③：赤羽台団地航空写真（1962 年撮影）団地南側上空より見る

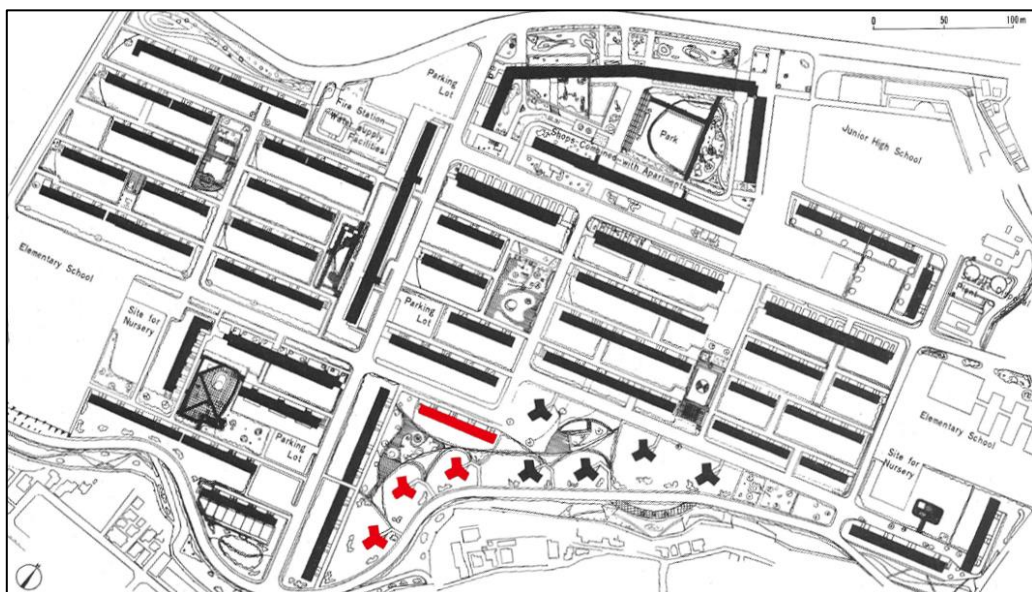


図 1：赤羽台団地 配置図（登録有形文化財の登録対象は赤く図示した住棟）



## 登録対象住棟の特徴等

登録有形文化財（建造物）の登録対象となった住棟については、日本建築学会からも以下のとおり評価いただいております。

- 一般社団法人日本建築学会 「UR 都市機構赤羽台団地の既存住棟（41、42、43、44号棟）の保存活用に関する要望書（建学発 2018-第 0089号）」より要約抜粋（文書のみ）

### ①日本住宅公団初期の団地計画の成果

- ・ 41号棟は、当団地以外の団地でも多くみられる標準的な「板状階段室型」の住棟。全ての住戸に採光・通気ができるように住棟を南面させ、各戸南側にバルコニーを設けた、この時代の典型的な住棟の一例であり、高度経済成長期の標準的な住棟形式を今に伝える事例として貴重。

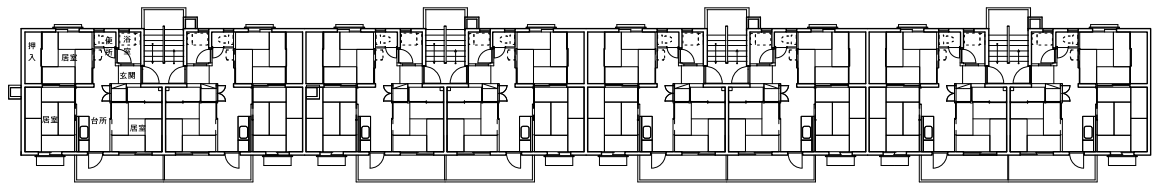


図2：板状階段室型住棟（41号棟）平面図

- ・ 42～44号棟は、「スターハウス」と呼ばれる「ポイント型」住棟。スターハウスは三角形平面の階段室の周囲に各階3住戸が放射状に配置され、全体がY字形の平面形状をとる、戦後日本で試みられた独特の住棟形式。全住戸が3方向で外気に接するという住戸内環境にとっての利点に加えて、板状住棟が平行に配置される単調な団地空間に変化を与えるという景観構成上の利点、さらに板状住棟を配置しづらい変形敷地や斜面地にも建設できるという敷地対応能力の高さを持つ。全国的に見てもスターハウスの建設数は少なく、赤羽台団地のようにスターハウスが3棟まとまっている例は希少であり、歴史的価値は高い。

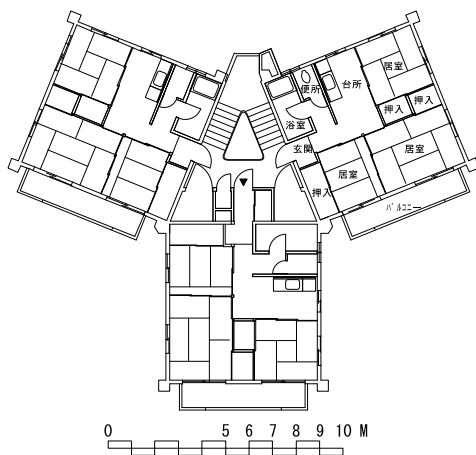


図3：スターハウス住棟（42～44号棟）平面図



写真④：敷地南側上空より住棟を見る（2018年3月撮影）

## ②景観形成における役割

- ・ 42～44 号棟は赤羽台団地南側の崖線沿いに連続して建設されたスターハウスのうち、南端から連続する3棟。赤羽駅のある崖下側から同団地にアクセスする際に景観上のポイントとなる建築であり、団地を含めたこの地域の景観を形成する上で極めて重要な役割を担っている。
- ・ 当該住棟群に囲まれた空間は、団地の当初の姿を知ることができる貴重な場所であり、高度経済成長期の団地空間が原配置のまま残される意味は非常に大きい。



写真⑤：敷地南側より崖線沿いの住棟を見る(43号棟(左)・44号棟(中央)・2018年9月撮影)

## ■位置図

